

福祉部 (福祉課・健康づくり課)

問 居場所づくり事業として、「フリースペース」が町内に6か所あり、町からの負担金が各施設に5万円となっているが、利用が1か所に集中している。事業の組立てを考え直せないか。

答 今後、利用促進を図っていく。

問 住民健診の受診率、日曜検診について問う。

答 本町の国民健康保険における受診率は府内4番目、大阪循環器予防センター発表のがん検診は府内6～7番目の高い受診率である。
日曜検診は、がん・特定検診も同時受診できるように調整し年3回実施している。

問 こども施設ICTシステム「コドモン」の保育所での実施状況と、放課後児童クラブへの導入について問う。

答 保育所通所全家庭で利用し、連絡がしやすくなったと保護者・職員とも好評である。放課後児童クラブについては建物のインフラが整っておらず、導入予定はない。

問 コミュニティソーシャルワーカーの相談件数と今後増えると見込まれる財産管理などの対応について問う。

答 相談件数は令和3年度73件、令和4年度106件で、財産管理相談などは関係機関と連携しながら対応していきたい。

産業建設部 (地域振興課・地域整備課)

問 高度産業化推進プロジェクトの取組状況について問う。

答 農業系企業誘致では、農水省主催の農業参入フェアにおいて、標高が高い能勢町で気温が低いというところで興味を持つ企業があり、参入の可能性について協議を進めているところである。

産業系企業については、土地の集約に向けて地権者の意向確認、地権者組織の発足、関係法令の調整を行い、計画的な土地利用ができるように取り組んでいるところである。

問 てっぺんフェスティバルを機会に、当日に町全体を周遊するとか、後日リピートするなどの観光事業の一つとしての仕組みなどは考えているのか問う。

答 てっぺんフェスティバルの時期には能勢に来ていただき周遊というところは難しいと考える。
冬になると、どの事業所もお客が減るというようなことを聞いており、冬の時期に能勢に来ていただけるPR方法等を考え、リピーターや能勢ファンを増やしていけるよう観光協会とも相談を重ねているところである。

問 産業立地促進事業において、旧東中学校の用地測量が止まっていると聞いている。現時点の状況を問う。

答 用地の測量において、隣接地の相続登記がなされていないため境界確認が出来ず保留としている。現在は、旧東保育所の用地測量を進めているところである。

問 令和4年度は、過疎債を使い始めた最初の年度になる。地域整備課と地域振興課の過疎債の活用について問う。

答 建設関係、農業関係等で今まで適債事業(自治体の地方債発行の対象として認められる事業)にならないものが適債事業になる。今後とも過疎債を計画的に活用していきたい。

問 大阪府池田土木事務所により令和4年度から調査されている設置者不明橋について、既に通行できないところもある。早急に府と協議を進め、対応されたいが考えを問う。

答 現在、府と管理者不明の橋について、今後どの様に管理をしていくかということを協議している。
府としては令和5年度内に全て整理をしたいと聞いており、現状生活の一部として橋が使われていることもあり、全て撤去ということではなく引続き協議をしていきたい。